

生活 町大すき

竹園東小学校2年1・4組
授業者 原 恵美子(T1)・國府田 佳代子(T2)

■ 単元の目標

- 地域の様々な場所やもの・人などの「町の大すき」を見つけようと自分の思いをもって探検し、自分の町への愛着を深めようとしている。
- 探検して感じたこと、見つけたこと、考えたことを自分なりの方法で工夫して表現できる。
- 自分の町には、好きな場所や心に残る出来事があり、また、自分の好きな人がいるなど、自分の住む町の良さに気付くことができる。

■ I C T活用の視点

○ 確かな学力をはぐくむために

学校の近くのショッピングセンターや店や施設を見学したりそこで働く人々と会話を交わしたりして、地域に愛着をもたせたい。さらに、探検して見つけたこと、インタビューなどを、モバイル機器に収めたりしたものを、グループウェアにまとめ、プレゼンテーションをするなど、表現力を高める。

○ 学び合い高め合える意見交流活動をするために

相手に分かりやすく伝えるための表現方法としてグループウェア・電子黒板の活用を考えた。見学したときの様子や場面をもう一度振り返ったり、思い出したりしながら、発表会の計画・準備をグループの友だちと協力しながら進めていきたい。さらに、グループウェアのメール機能、ポスター機能を活用しながら、グループ内での練り合い、他グループとの意見交流活動が活発にできるようにする。

■ 本時の授業の概要

春探検では味わえなかった、地域の人々やそこで働く人々と繰り返しかかわりながら、疑問に思ったことを質問し、「町のだいすき」を紹介していきたい。まとめていく過程では、新たにでてきた知りたいこと、聞きたいことについて、探検先の方をゲストティーチャーとしてお招きし、直接かかわりながら調べていく。またICT機器を活用してまとめ、地域や保護者の方を招いてプレゼンテーションをひらいたり、他校の友達と伝えあつたりすることで、さらに自分たちの町への愛着を深められるようにしたい。

本時の目標

自分で探検して調べたことを発表したり話し合つたりしながら、友達やゲストティーチャーとの意見交換を通して、さらにまちの良さに気付くことができる。

学習活動	指導上の留意点
1. 本時の学習課題をつかむ。	課題を提示し本時の活動の確認する。 まちのよさのはっぴょうや、友だちやゲストティーチャーとの話し合いの中で、「町の大すき」をもっとたくさん知ろう。
2. グループに分かれて「もっと知ろうまちの大すき会」をはじめること	発表するグループは、声の大きさや速さや間の取り方に気を付ける。 ・公民館（2の4教室） ・いちじく・やさい（ワークスペース） ・お店（ワークスペース） ・児童館（多目的室）
3. 本時の学習を振り返り、まとめをする。	聞き手は相手の説明をよく聞いて疑問に思ったことを質問できるようにする。 電子黒板、実物、画用紙を適切に使い、相手に分かりやすい発表となるようする。 一方的な発表にならないように、話し手と聞き手の双方向のやりとりになるようする。 ◎伝えたいことを相手に分かるように発表や質問をすることができたか。
	まとめている過程で、もっと知りたいことをゲストティーチャーに聞く。 お互いに伝え合ったことで、まちのよさに気付けるようにする。